

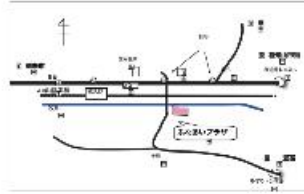
分類 番号	A25	取組 名称	京都における漆生産の再興に関する研究 ー丹波漆を世界へー
研究代表者：	生命環境科学研究科	職・氏名：	教授・椎名 隆
研究担当者：	京都府立大学（石崎陽子、北川美穂） 京都工芸繊維大学（北島佐紀人氏） NPO 法人丹波漆（岡本嘉明氏、高橋治子氏、小野田さやか氏、竹内耕祐氏）		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	NPO 法人丹波漆、（地独）京都市産業技術研究所		
<b>【研究活動の要約】</b>			
<p>ウルシ樹の樹液を材料とする漆は、食器や家具などの日用品さらに建造物の塗料、接着剤として古くから広く使われてきた。その歴史は縄文早期に遡り、日本を代表する工芸技術の一つである。一方、その原料となる漆の国内生産量はわずか（3%以下）、必要とする漆のほとんどを中国からの輸入に頼っている。NPO 法人丹波漆は、かつては日本有数の漆産地であったが京都府の丹波地方における安定的な漆生産を目指した活動を行っている。本事業では、NPO 法人丹波漆と連携し、DNA 分析などの最新の科学技術も活用しながら、生産性や病虫害耐性を強化したウルシ樹の開発や、ウルシ樹の育成から漆生産、さらに利用に至る新しいシステムの提案を目指し、多様な機関と連携しながら活動を行った。また、様々な講演会や展示会で得られた研究成果の公表に努めた。</p>			
<b>【研究活動の成果】</b>			
<p>本事業の主な研究成果として、国内で栽培されている主要なウルシ樹の種類を判別できる SSR マーカーの開発をほぼ終了することができた。開発した DNA マーカーを使うことで、国内32カ所で栽培されているウルシ樹をそれぞれ判別することができる。また、葉緑体 DNA マーカーの作成も進め、中国など国外のウルシ樹と国内のウルシ樹を判別できることを明らかにした。これらの成果を用い、ブータン国立林業研究センターと連携し、ブータンに中国や日本と同じウルシ樹 (<i>Toxicodendron vernicifluum</i>) が存在する可能性について検討を進めている。さらに、漆の主成分であるウルシオール合成経路を明らかにする目的で、ウルシオール合成部位と考えられる師部と葉を使い、次世代シーケンサを用いた網羅的転写産物解析も行っている。</p> <p>また、病虫害に強く生産性が高い精鋭樹を選抜目的で、ウルシ樹の生育状況を比較検証するための試験林の整備も進めている。これまでに3種のウルシ樹の比較栽培を始めている。これらの成果は、様々な講演会や展示会で発表を行った。</p>			
<b>【研究成果の還元】</b>			
H27/5/23 京都府立大学 関係者等約 100 名 国際植物の日「日本の漆・世界の漆」			
H27/11/14 福知山市夜久野ふれあいの里体育館 関係者等約 100 名「なぜ日本産漆、丹波漆は必要か」			
<b>【お問い合わせ先】</b>			
生命環境科学研究科 植物分子生物学研究室 教授・椎名隆			
Tel: 075-703-5115 E-mail: shina@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)

**14** 『国産漆、丹波漆は  
(山)なぜ必要か?』講演会

協力金: 500円

- 12:00 ~ 受付～夜久野ふれあいプラザにて～  
ポスター発表「丹波漆の植栽活動に触れて」京都美術工芸  
大学2年生  
夜久野で行った植栽地管理や漆精製の実習についてポス  
ター発表をします。
- 13:00 ~ 開会のあいさつ
- 13:15 ~ 14:00 講演「なぜ日本産漆 丹波漆は必要か?」  
講演1: 京都府立大学 椎名隆「丹波漆を科学する」  
講演2: 公益財団法人美術院国宝修理所 藤本青一  
「日本産漆を使った仕事」  
講演3: (株)小西美術工芸社代表取締役社長 デービッド・  
アトキンソン  
「日本産漆の利用と課題」
- 15:40 ~ 16:00 休憩
- 16:00 ~ 17:00 鼎談「なぜ丹波漆は必要か」  
文化財修復の立場から日本産漆の必要性、京都の文化財修  
復における丹波漆の必要性について討論していただきます。  
(株)小西美術工芸社代表取締役社長 デービッド・アトキ  
ンソン  
公益財団法人美術院国宝修理所 藤本青一  
京都産業技術研究所 理事・研究室長 大藪泰
- 18:00 ~ 20:00 漆を語る! 交流会～夜久野荘(夜久野町平野2179 農匠の郷  
やくの内)～  
漆にまつわるお話を楽しいお食事とともに。  
参加費: 5,000円(宿泊費は個人負担となります。)



場所: 夜久野ふれあいプラザ  
京都府福知山市夜久野町額田19-2  
文化ホール JR夜久野駅 徒歩10分

【プロフィール】

椎名 隆  
京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 応用生命科学  
学専攻 教授  
専門は植物の分子生物学。普段は葉緑体を研究してい  
ます。ウリシノキの遺伝子研究に取りかかったのは5～6  
年前。ウリシノキの魅力にはまっています。他にカカオ  
の研究などもしています。

藤本青一  
公益財団法人美術院国宝修理所 所長  
仏像修理・文化財修理を行う団体である美術院国宝修  
理所の所長を務め、京都 三十三間堂の千手観音立像  
や平等院鳳凰堂の阿彌陀如来坐像など数々の修理を手  
がけている。

デービッド・アトキンソン  
(株)小西美術工芸社代表取締役社長  
オックスフォード大学日本学卒業後、コンサルティング  
会社や証券会社において銀行アナリストとして活躍。  
2009年日光東照宮の修復など文化財保存修理の老舗  
である(株)小西美術工芸社に入社。2011年より同社社  
長に就任。日本文化への造詣が深いことでも有名であ  
る。

コーディネーター  
大藪 泰  
京都産業技術研究所 理事・研究室室長  
漆塗膜の研究をはじめとして、企業・大学との共同研究  
なども行っている。

**15** うえるかもまつり  
(回)漆の植樹祭

- 9:00 ~ 受付～やくの木と漆の館にて～
- 9:30 ~ 10:30 記念キーホルダーづくり「色漆を使って名前を書こう!」  
参加費: 1000円(小学生以下: 500円)
- 11:00 ~ 12:30 漆苗 植樹～福知山市梅谷 植栽地～  
「漆の苗木を植えましょう、大きく育つことを願って!」  
バスで移動しますので集合時間厳守!  
持ち物: 軍手・長靴・長袖長ズボン・帽子・タオル ※汚れてもよい服装で!  
参加費: 1000円(小学生以下無料)



お問い合わせ  
**やくの木と漆の館**  
〒629-1322 福知山市夜久野町平野 2199  
☎ 0773-38-9226  
※館内時間: 10:00～17:00 | 定休日: 毎週水曜日

主催: NPO法人丹波漆  
後援: 京都府立大学大学院生命環境科学研究科  
地方独立行政法人京都産業技術研究所  
協力: やくの木と漆の館

丹波漆より  
tanbaurushi.blog.fc2.com

NPO法人丹波漆  
tanbaurushi.org  
facebook.com/tanbaurushi

この活動は、京都府地域力  
向上プロジェクト支援事業  
の助成を受けています。

NPO 丹波漆主催、京都府立大学大学院生命環境科学研究科後援の講演会「国産漆、丹波漆はなぜ必要か?」  
のフライヤー